

協議事項②：北部定期便 運行車輛の変更について

■ 渋沢栄一関連の来訪者が急増しています

2019年4月、渋沢栄一が新1万円札に起用されることが発表になって以降、市域の北部に点在する渋沢栄一関連施設を訪問しようと市外からの来訪者も増え、同時に関連施設への移動のため『深谷市コミュニティバス「くるりん」北部定期便』を利用することから、乗車数が急に増加しております。

増加分の利用客は市外から電車で深谷駅までこられ、深谷駅から北部定期便に乗車するため、出発時に既に車両が満員になることが幾度もございました。

これまでご利用いただいていた利用者のうち、巡回ルート上の途中バス停から乗車しようとしたところ、満員で乗れずという状況が度重なり発生し、市民利用を圧迫しております。そこで、満員状態が原因による積み残し対策として、まずは車輛の大型化を以下の様に行いたいと考案いたしました。

■ 車輛の大型化

現運行車輛 トヨタハイエース 乗客定員 12人乗り

変更後車輛 小型バス 乗客定員 30人乗り(乗客座席数:15人分)

※車輛は現運行事業者(株協同バス)保有車を使用します。

■ 車輛の大型化する期間

令和元年12月16日 から 令和2年3月31日まで

■ 車輛大型化に伴う追加費用

総額 1,351,605円

◇現行車輛



◇大型化に用いる車輛

